

漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科

〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346

ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

五島海区におけるキビナゴの資源評価

五島海区におけるキビナゴの資源水準は中位、動向は横ばいと判断されます

I. 漁獲量の動向および資源評価

五島海区におけるキビナゴ漁獲量は近年 750 トン前後で推移していましたが、令和元年の漁獲量は 898 トンで前年（940トン）並み、平年（794トン）並みでした（前年比96%、平年比113%）。（図1）

五島標本漁協における令和元年のキビナゴ月別漁獲量は、1月、2月、4月、9月は平年より多く、3月、5月、8月、10月、12月は平年並み、11月は平年より少ない状況でした。（図2）

※ 過去5年間の平均値（平年）より20%以上上回った場合を「多い」、下回った場合を「少ない」、±20%以内を「平年並み」としました。

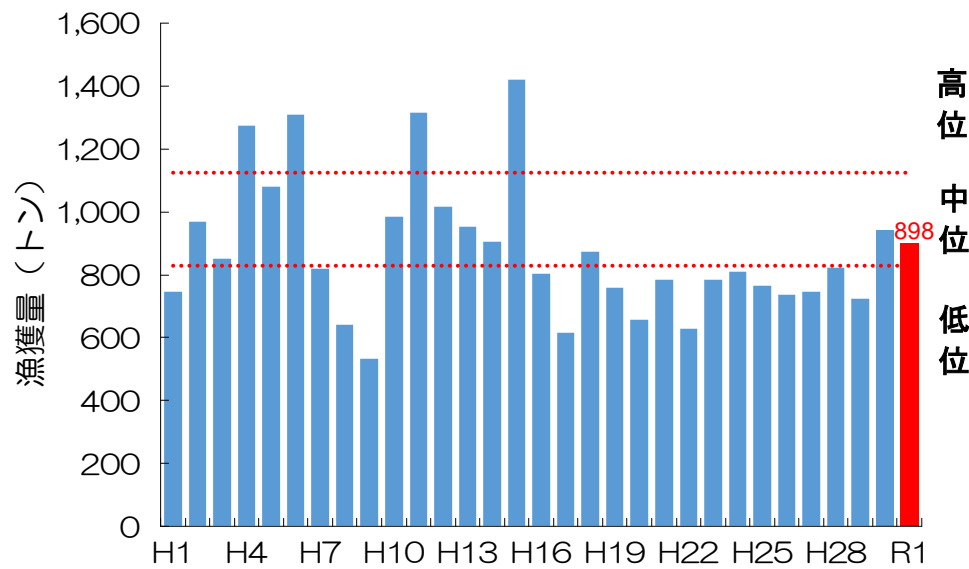


図1 五島海区におけるキビナゴの漁獲量
(H18までは農林水産統計年報、それ以降は推定値)

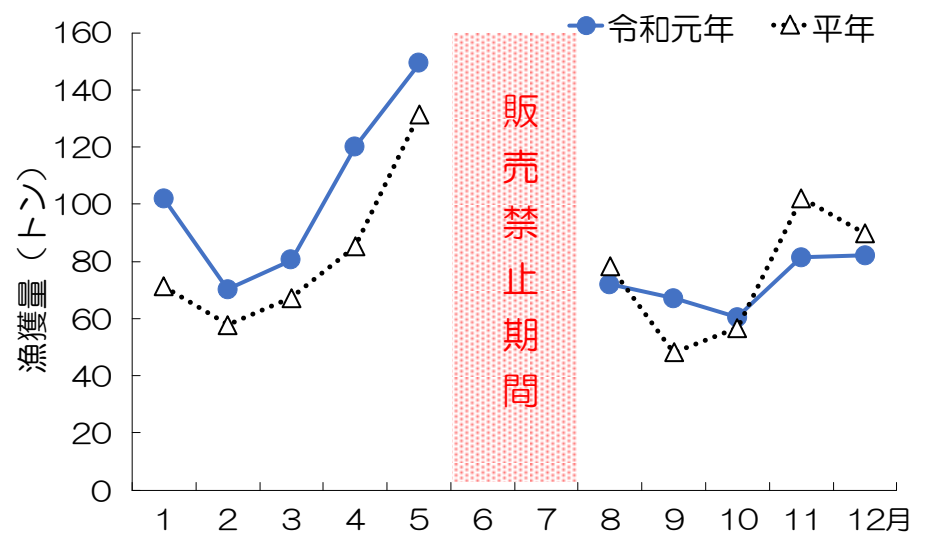


図2 五島標本漁協におけるキビナゴ月別漁獲量

五島海区におけるキビナゴ漁獲量から資源状況を評価すると、令和元年におけるキビナゴの資源水準は中位にあり、過去5年間の動向から横ばいと判断しました。（図1）

※ 資源水準：H1～H30の漁獲量の最大値と最小値の間を3分割し、828以下を低位、828～1,125を中位、1,125以上を高位としました。
※ 資源動向：過去5年間の漁獲量の平均値より20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」、中間を「横ばい」としました。

II. 近年の産卵期の特徴

これまでの研究事例では、五島海区におけるキビナゴの産卵期は6～9月と考えられています。直近5ヶ年の産卵期を見ると、平成27年～平成29年は10月まで、平成30年～令和元年は7月～9月まで成熟したキビナゴが確認される等、産卵期に若干の年変動が生じています。（図3）

※ H27は6月と7月は欠測のためデータがありません。

生殖腺指数は、キビナゴの体重に対する卵巣・精巣の重さの割合を指標にしたものです。卵巣・精巣が発達したキビナゴが多い月に色をつけています。

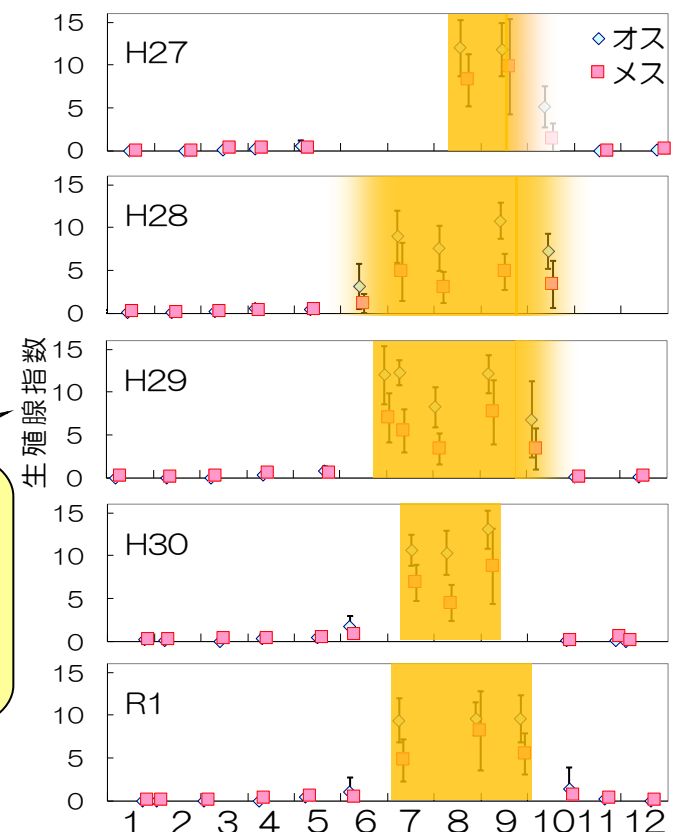


図3 生殖腺指数の月別の推移